

## 兵庫県将来推計人口について

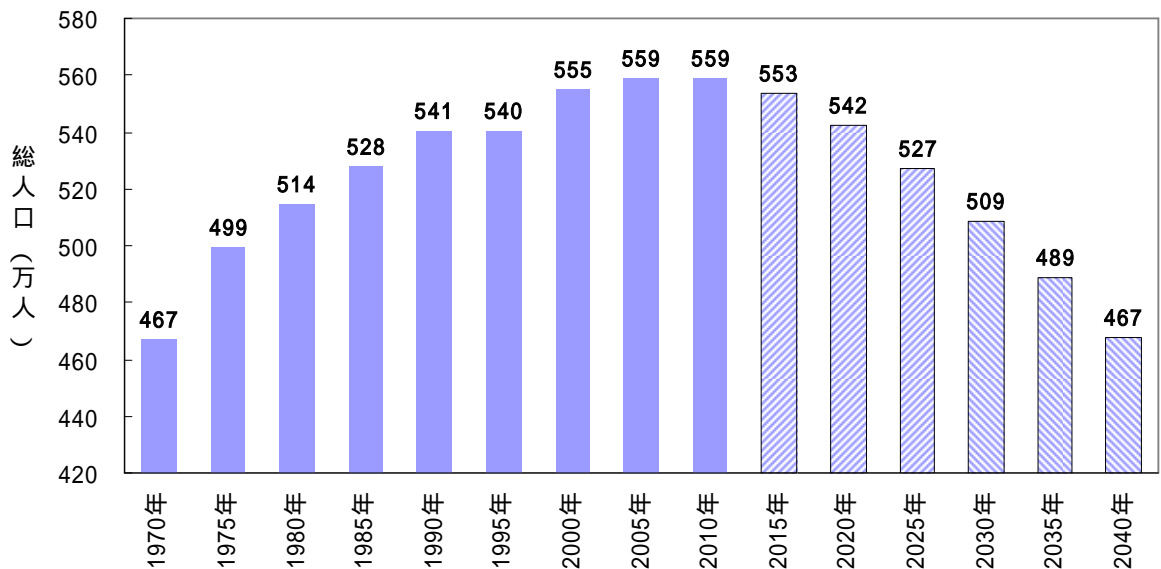
将来の本県の人口規模・分布を検討する際の基礎資料として、平成 25 年 3 月および 12 月に発表された国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という）将来推計人口結果に基づく兵庫県分概要を報告する。

### 1 総人口

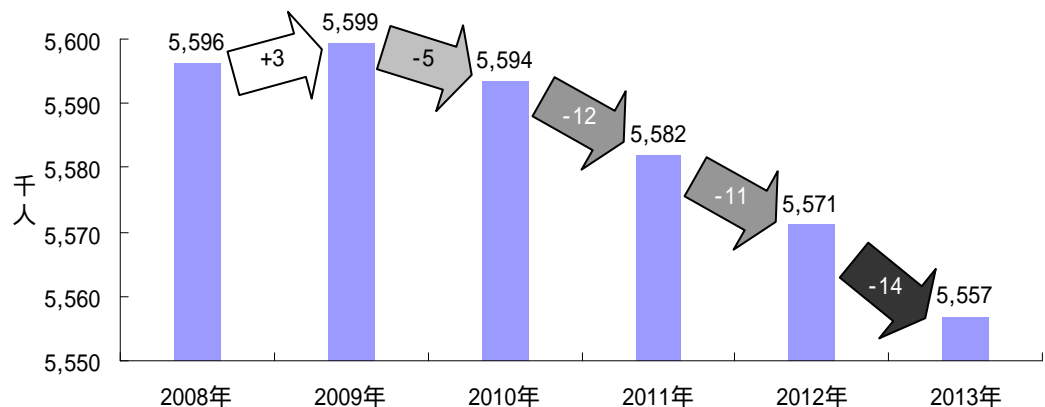
#### (1) 概要

- ・本県の人口は減少局面に入り、2040 年には現在より約 92 万人少ない 4,673 千人（概ね 2 割）減となり、1970 年と同水準となる。
- ・近年の動向を見ると、2009 年 11 月をピークに減少局面に入っており、減少幅は拡大傾向に。2013 年では 5,557 千人となっている。

【兵庫県総人口の推移予測】\*2010 年までは実績値



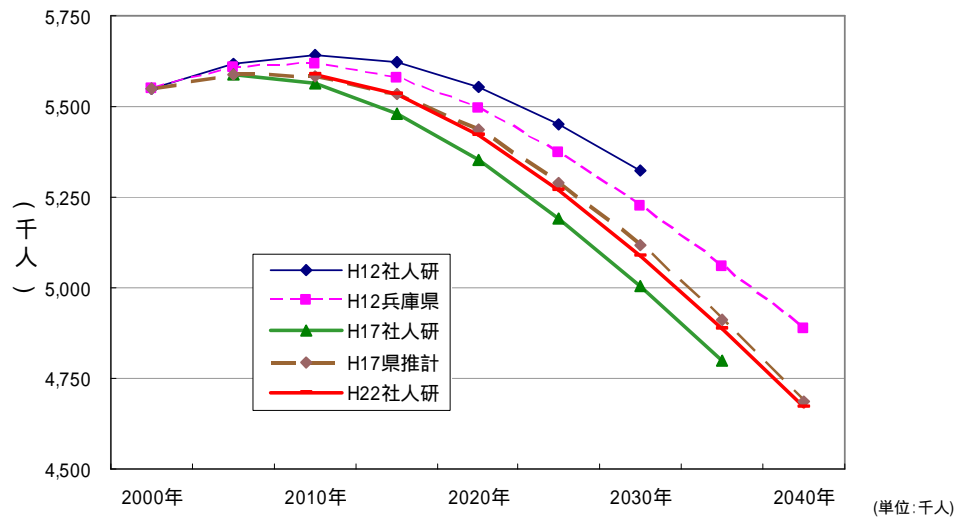
【直近 5 年間の兵庫県推計人口の推移(各年 10 月 1 日現在)】



【参考】

将来人口推計については、国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研という）が国勢調査の結果に基づき、5年ごとに推計を行っていたが、阪神・淡路大震災での大幅な人口移動が社人研推計では捕捉できないという観点から、平成12年度より、兵庫県推計を実施。当初推計には両者に大きな乖離があったものの、その差は縮小しており、平成17年に実施した県独自推計と今回の社人研推計結果はほぼ一致している。

推計結果比較【全県】(総人口) \* 2040年まで



	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
H12社人研	5,551	5,620	5,643	5,621	5,554	5,451	5,325		
H12兵庫県	5,551	5,607	5,617	5,579	5,494	5,371	5,223	5,060	4,885
H17社人研		5,591	5,564	5,482	5,355	5,193	5,007	4,799	
H17県推計		5,591	5,586	5,535	5,434	5,290	5,116	4,913	4,688
H22社人研		H22国調実績	5,588	5,533	5,422	5,269	5,088	4,888	4,674
(H17県推計とH22社人研の差)			2	-3	-12	-22	-28	-25	-15

(2) 年齢別人口

0～14歳（いわゆる「年少人口」）

- ・ 2010年の761千人から、2040年には約6割の472千人にまで減少する。
- ・ 比率は14%（2010年）から10%（2040年）に低下する。

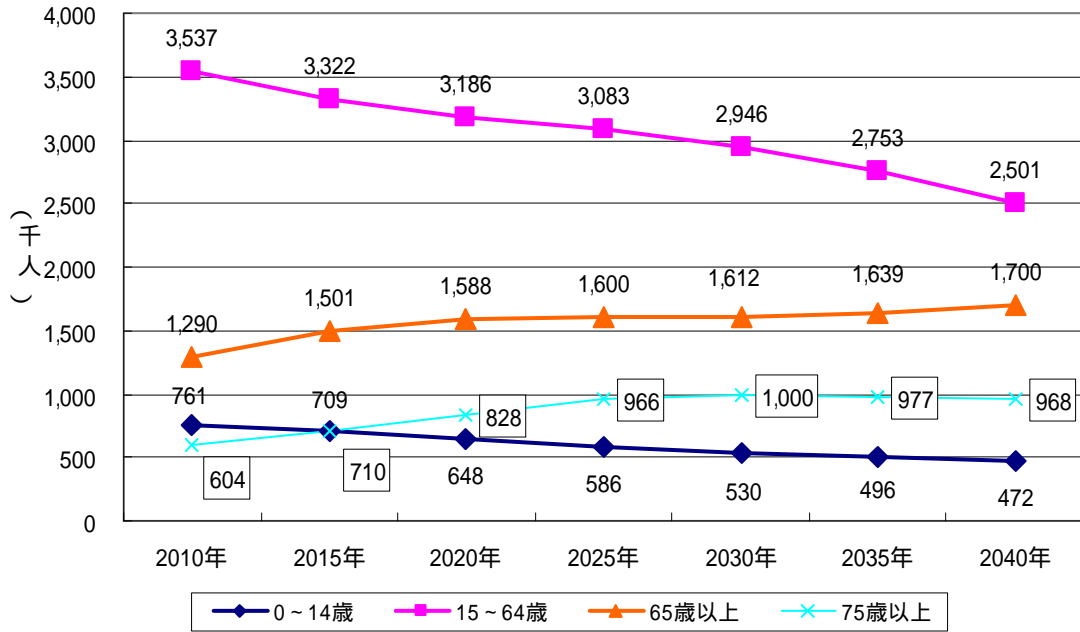
15～64歳（いわゆる「生産年齢人口」）

- ・ 2010年の3,537千人から、2040年には約7割の2,501千人にまで減少する。
- ・ 比率は63%（2010年）から54%（2040年）に低下する。

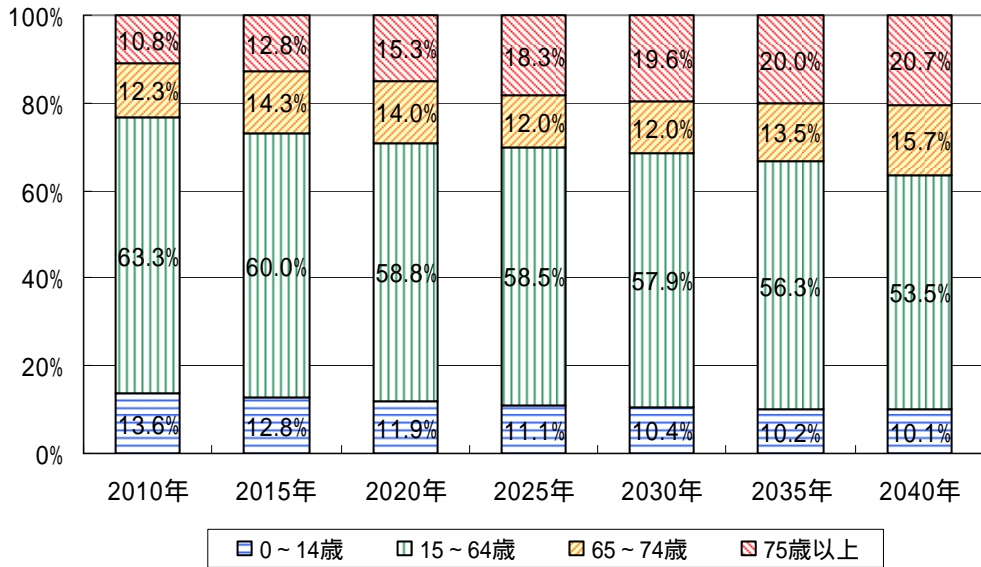
65歳以上（いわゆる「高齢者」）

- ・ 2010年の1,290千人から2015年には約1.2倍の1,501千人にまで増加するが、その後増加率は鈍化し、2040年には1,700千人となる。
- ・ 比率は23%（2010年）から36%（2040年）にまで上昇する。
- ・ 75歳以上（いわゆる「後期高齢者」）の比率は11%（2010年）から21%（2040年）にまで上昇する。

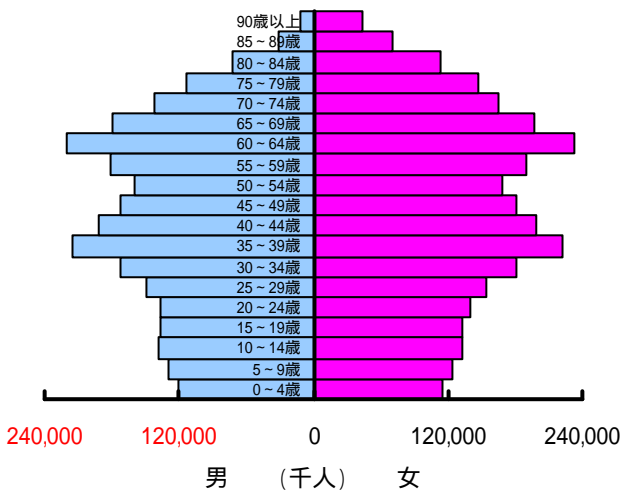
【全県】(年齢別人口)



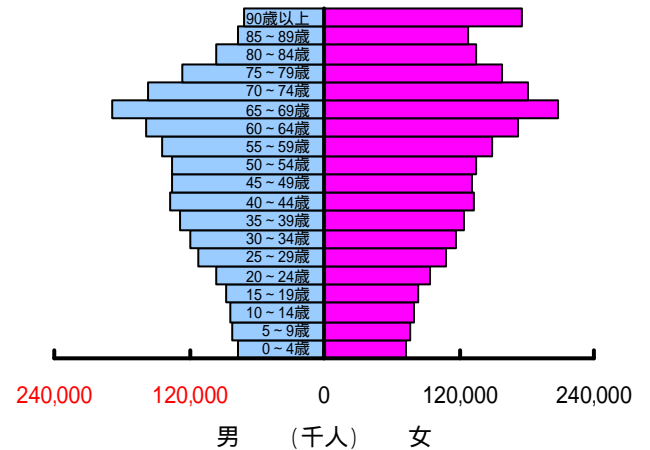
【全県】(年齢別人口比率)



人口ピラミッド(兵庫県・2010年)



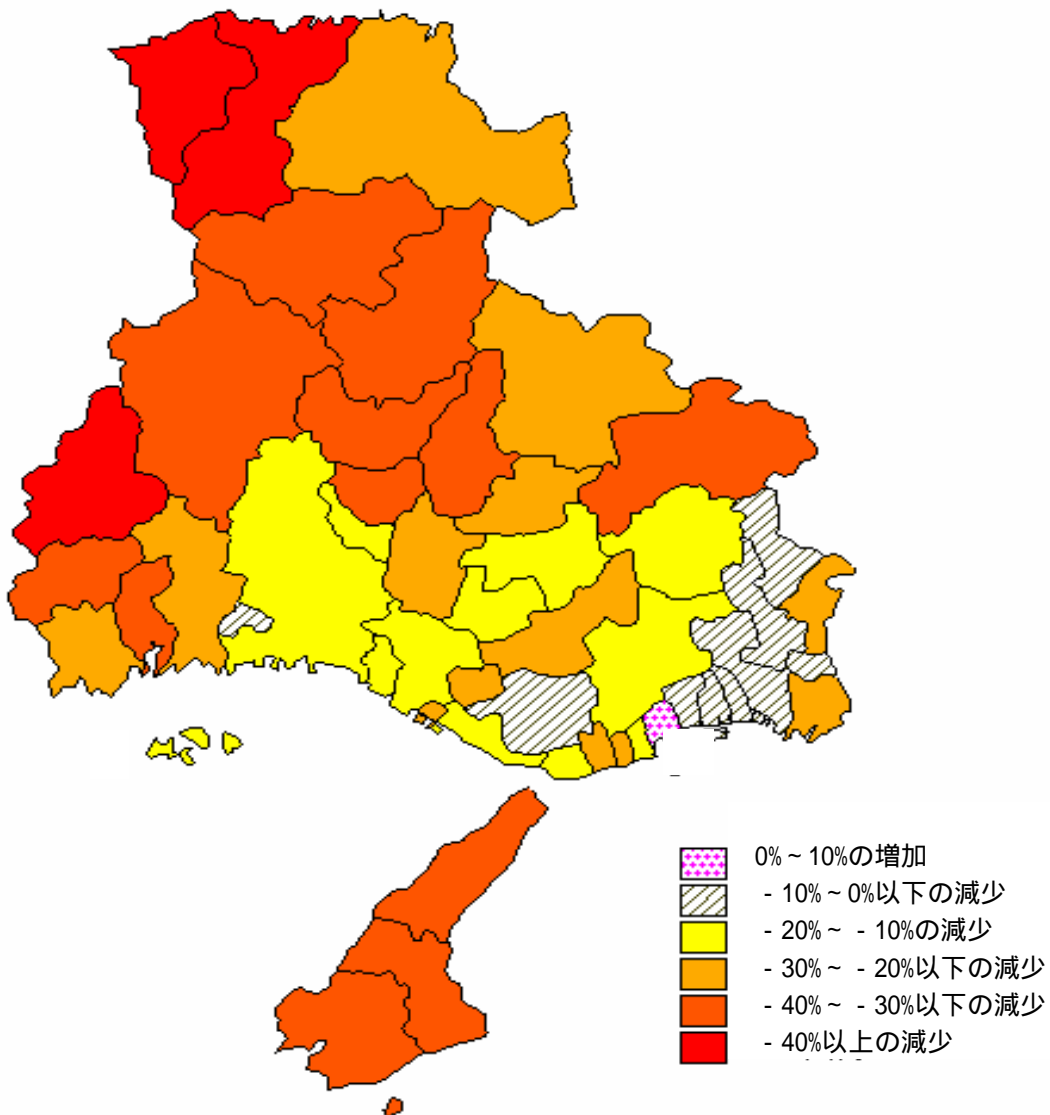
人口ピラミッド(兵庫県・2040年予測)



(3) 県下における総人口の増減割合…進む「人口の偏在化」

- ・神戸市東灘区、灘区、兵庫区、中央区、西区や西宮市、太子町など一部の市区町で2015年頃まで人口が増加するが、その後2040年に向けて、神戸市中央区を除く全ての市区町において人口が減少する。
- ・神戸・阪神間地域では、人口の減少幅が他地域に比べて小さい。
- ・西播磨、但馬、中播磨北部、淡路などで人口減少が著しく、佐用町、新温泉町、香美町など2040年までに人口が4割以上減少する町もある。

【県内市区町村単位の人口推移予測（2010～2040年の増減率）】



減少が大きい 上位3地域	増加する、または減少が 小さい上位3地域
佐用町（43.0%減）	中央区（1.1%増）
新温泉町（42.6%減）	西宮市（3.2%減）
香美町（41.4%減）	灘区（4.8%減）

## 推計結果を活用し、将来像を描く

これまで見てきたように、兵庫県は人口減少社会の本格的な到来を迎えているが、それをただ課題として捉えるのではなく、そうした変化に対応した社会づくりを進めることにより、むしろ新たな発展につなげられる可能性がある。

以下では、従来の社会像を転換し、2040年を前向きに展望する事例を取り上げる。

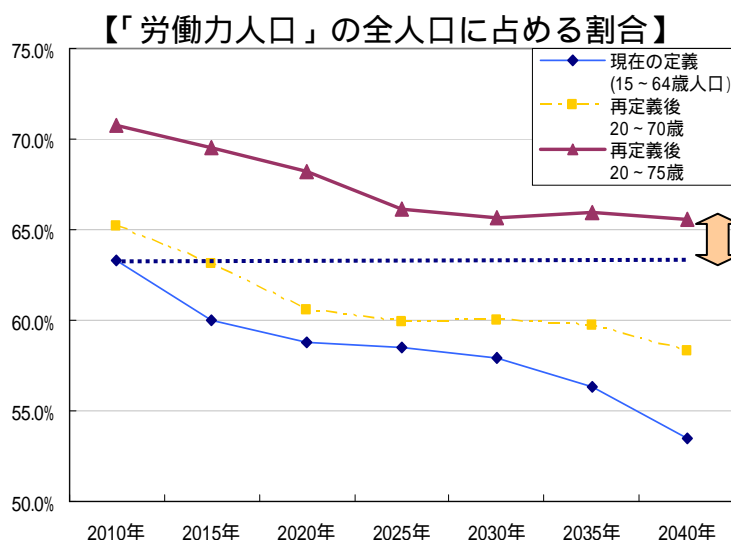
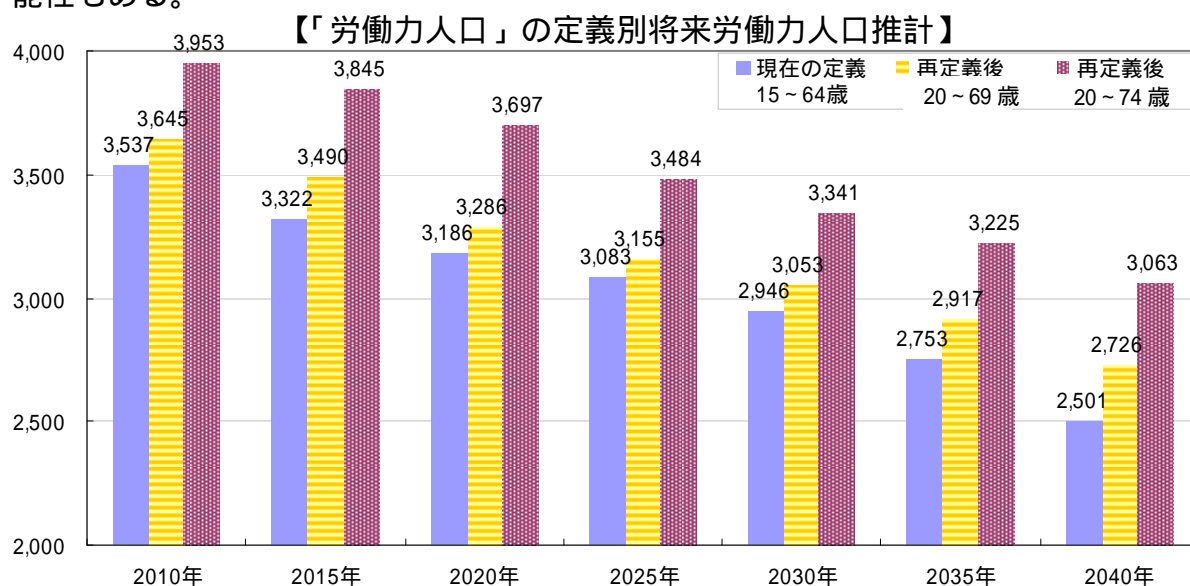
### その1 しごとの担い手確保

～労働力人口の再定義により、高齢者がいきいきと活躍できる環境が整った場合～

2010年現在の労働力人口定義（15歳～64歳）で労働力人口が推移した場合、現在の3,537千人は2040年には2,501千人に減少し、100万人以上の労働力人口が減少する。

仮にいつまでも社会のために働きたいという元気な高齢者が増加し、75歳未満を労働人口として捉えた場合、10代の人々が進学等によりしごとの担い手でないという状況を勘案して労働力人口から除外したとしても、2040年には300万人以上の労働力の維持が可能となり、2010年比では50万人以下の減少に留まる。

また、人口の構成比的にみた場合、75歳未満を労働人口と捉えると2040年には現在よりも労働力人口の社会全体に占める割合は増加。元気な高齢者がいきいきと活躍できる環境整備を進めていくことにより、懸念される産業力の低下の歯止めになる可能性もある。



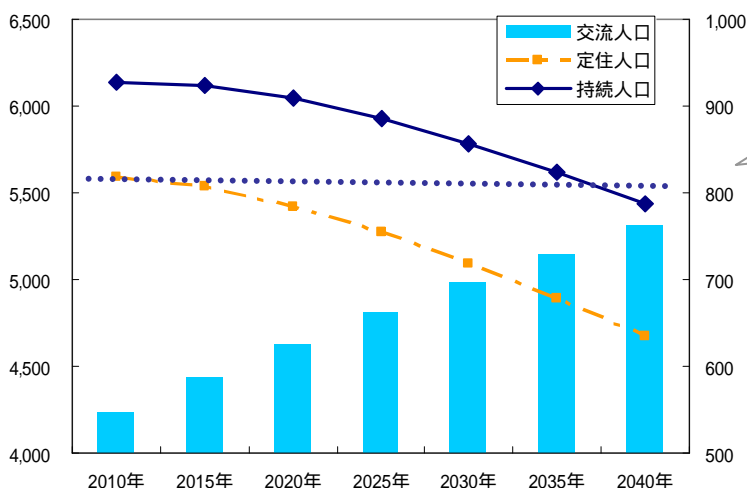
社会全体の働き手の割合はむしろ増える可能性も！

## その2 人口は減少しても、地域を支える人を維持

～「定住人口」のみならず、「交流人口」を加味した「持続人口」で人口を捉えた場合～

地域が活力を維持しながら持続するという観点から、単にその地域に居住する人々のみが地域を支えるのではなく、その地を訪れたり、その地で週末を過ごす二地域居住の人々を交流人口として捉え、定住人口と交流人口の合計を持続人口と捉えるならば、様々な取組の展開により、交流人口が増加した場合、2040年にも現在の定住人口と同程度の人口規模で活力を維持することができると考えられる。

【交流人口、定住人口、持続人口の将来予測】



定住人口が減少しても、交流人口の拡大が進めば、地域の活力を支える人は、現在と同水準の維持が可能。

交流人口：観光客入込数、二地域居住者、通勤通学者の合計。  
 定住人口：平成22年国勢調査に基づく居住者数  
 持続人口：活力ある地域を支える人口。交流人口と定住人口の合計。

(持続人口算出の仮定値について)

定住人口	2010年は実績値(国勢調査)。2015年以降は、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口(平成25年版)。
観光入込数	2010年は実績値(観光動態調査)。2015年以降は、毎年観光客入込数が1%ずつ上昇すると仮定した上で、日帰り客には1/365、宿泊客には2/365を乗じた。
二地域居住者数	統計が存在しないため、国土交通省のアンケート調査結果に基づき、現在の二地域居住者数を定住人口の2.4%と推定。同調査で二地域居住を希望する者(今後二地域居住をしたいと思うと回答した者)が回答者の13.6%だったことから、2050年時点の二地域居住者数が定住人口の13.6%となるよう、毎年定率で上昇させることとして推計した。(2040年時点では10.8%) 出典：国土交通省国土計画局「二地域居住等に関する調査結果」(平成20年5月)
通勤通学人口	国勢調査(平成22年)における通勤通学人口(他府県からの流入人口)の対県人口比(2.41%)が今後も維持されると仮定して推計した。

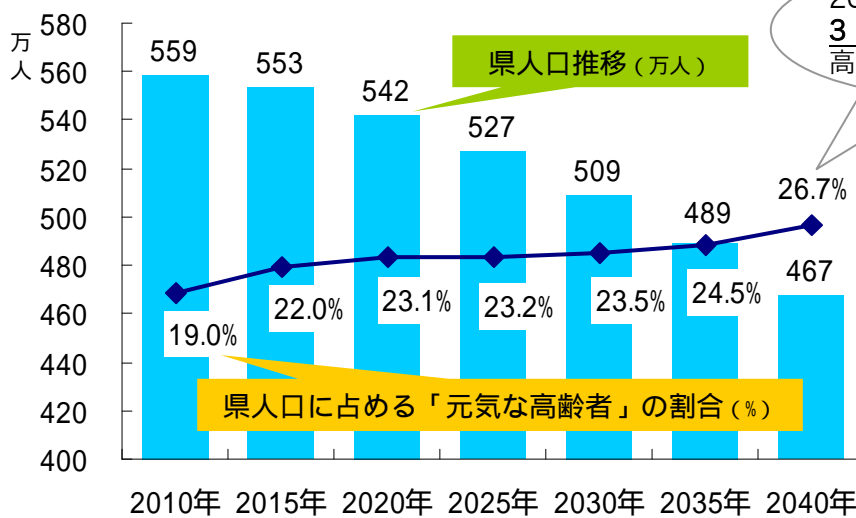
### その3 高齢者の増加で「元気な高齢者」も増加

～人口に占める高齢者の割合は増加、元気な地域づくりは元気な高齢者の活躍が鍵～

県人口が縮小していく一方で、高齢者数と高齢化率は右肩上がりに増加している。これまで、高齢者はひとくくりに「支えられる側」と考えられてきたが、社会の高齢化・長寿化が進む中で、家族や地域を積極的に「支える側」に立つ「元気な高齢者」が増えている。

「元気な高齢者」が県人口に占める割合を試算すると、2010年には県人口のおよそ5人に1人が「元気な高齢者」であるのに対して、2040年には3人に1人が「元気な高齢者」となる。地域の活力や安全安心を維持していく上で、「元気な高齢者」の豊富な経験を生かした幅広い分野への参画が鍵となる。

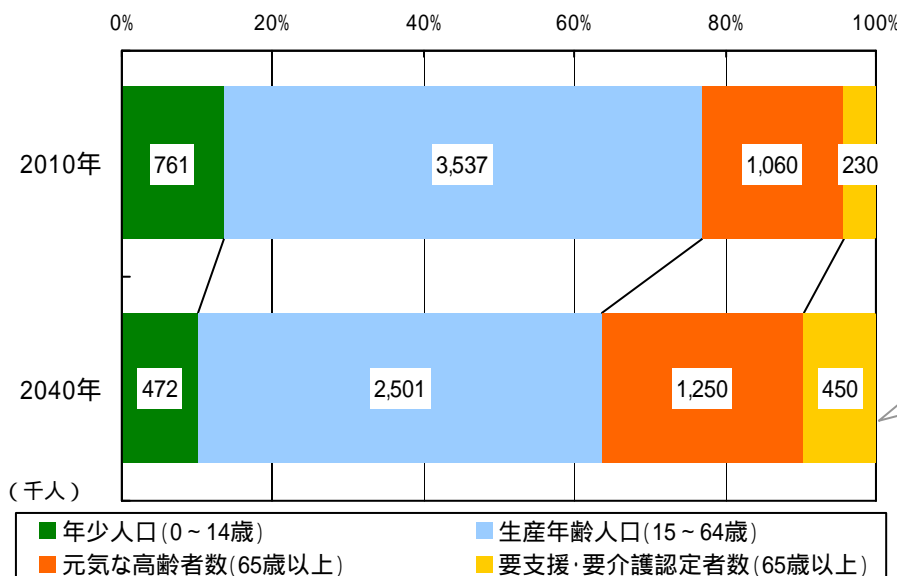
【県人口に占める「元気な高齢者」の将来予測】



2040年には県人口の3人に1人が「元気な高齢者」となる。

「元気な高齢者」65歳以上の各5歳階層人口から、要支援・要介護認定者数を除いた人数を「元気な高齢者」数と仮定。2010年10月時点の認定率が維持されると仮定して2040年までの「元気な高齢者」数を推計し、県人口に占める割合を算出した。

【県人口構成の比較 (2010-2040)】



生産年齢人口の割合は減少するが、「元気な高齢者」が増えることで、社会全体の「担い手」の割合は維持



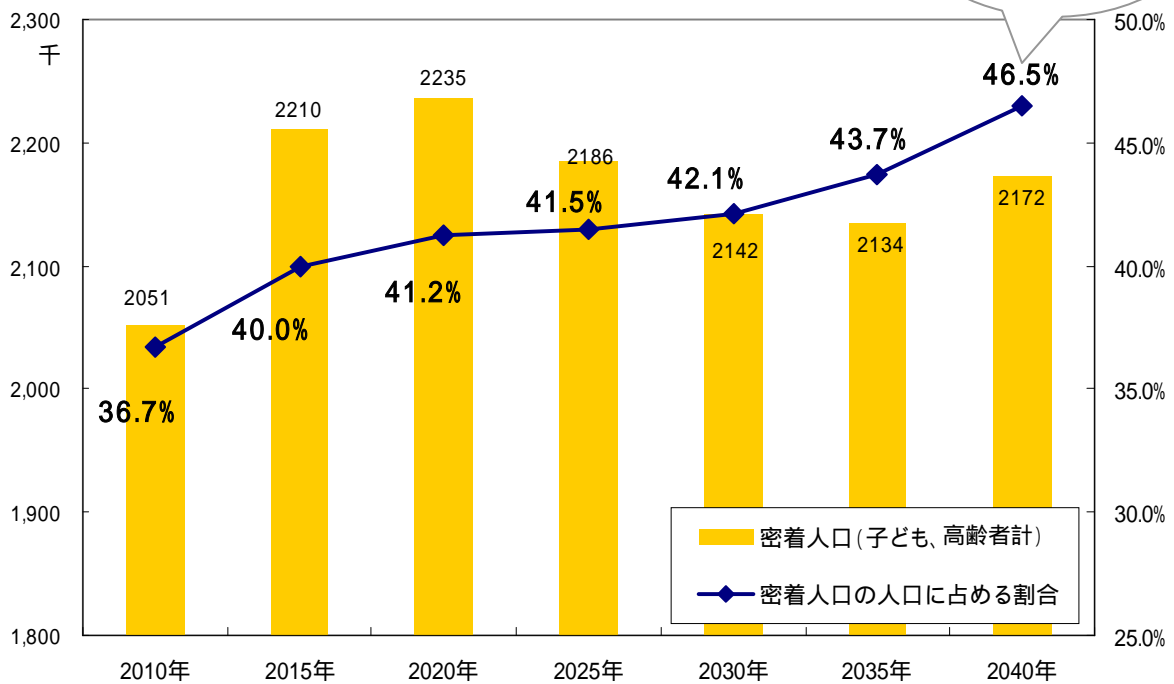
#### その4 地域密着で活躍する人が増加

～人口に占める「子ども・高齢者」の割合の推移～

地域の魅力を高めたり、地域における課題に積極的に取り組む人や、地域の行事に積極的に参加する人を「地域密着活動人材」と捉えた場合、現在の担い手の大部分は、子どもや現役を退いた人から構成されている。

「地域密着人材」が県人口に占める割合を試算すると、2010年には県人口のおよそ3人に1人が「地域密着人材」であるのに対して、2040年には約半数が「地域密着人材」となる。「地域密着人材」の増加、活躍による、元気な地域づくりへの期待が高まる。

【県人口に占める「地域密着人材」の将来予測】



2040年には県人口の約半数が「地域密着人材」として、地域活動に参加

「地域密着人材」

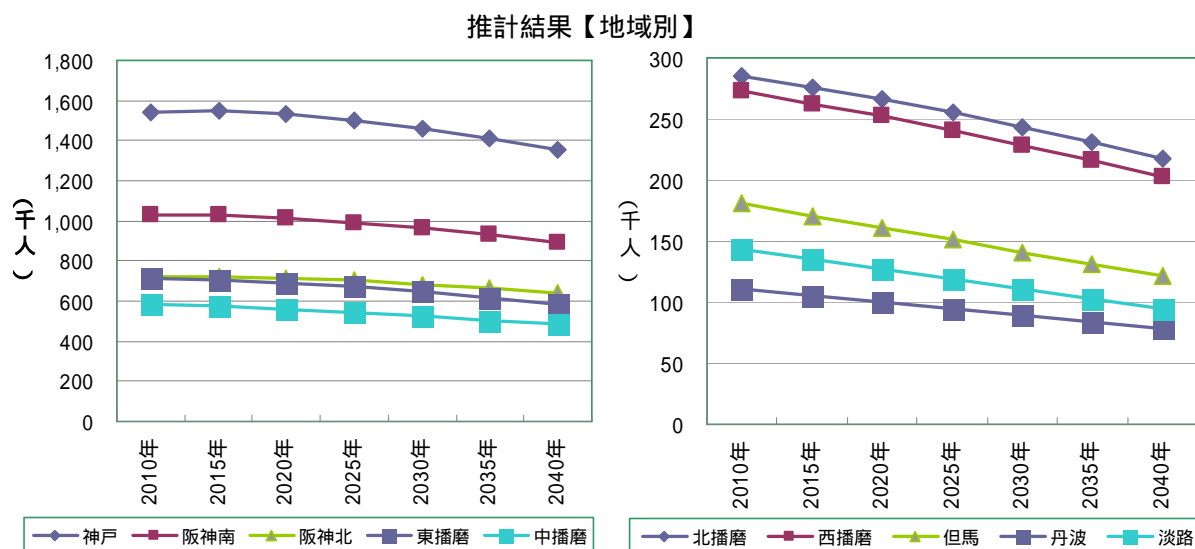
0歳～14歳の子ども人口と、65歳以上の高齢者人口を「地域密着人材」と仮定。



## 2 地域別（県民局別）人口

### (1) 概要

- ・全ての地域において2040年まで人口減少が続く。
- ・神戸、阪神北以外の地域では、2010年以降一貫して人口が減少する。神戸、阪神北地域は2015～20年頃から人口減少局面に入る。
- ・2010～40年の期間で減少率が高い地域は、淡路（34%減）、但馬（32%減）、丹波（30%減）、西播磨（25%減）、北播磨（24%減）の順となっている。



### (2) 年齢別人口

#### 0～14歳（いわゆる「年少人口」）

- ・実数・比率ともいずれの地域でも減少し、比率は10%前後、概ね10人に1人の割合となる。特に神戸、丹波、淡路では、10%を切る低い割合となっている。

#### 15～64歳（いわゆる「生産年齢人口」）

- ・実数・比率ともいずれの地域でも減少する。比率で見ると、神戸、阪神南、阪神北、東播磨、淡路の5地域で10%程度の減少、その他の地域も概ね7%以上減少している。

#### 65歳以上（いわゆる「高齢者」）

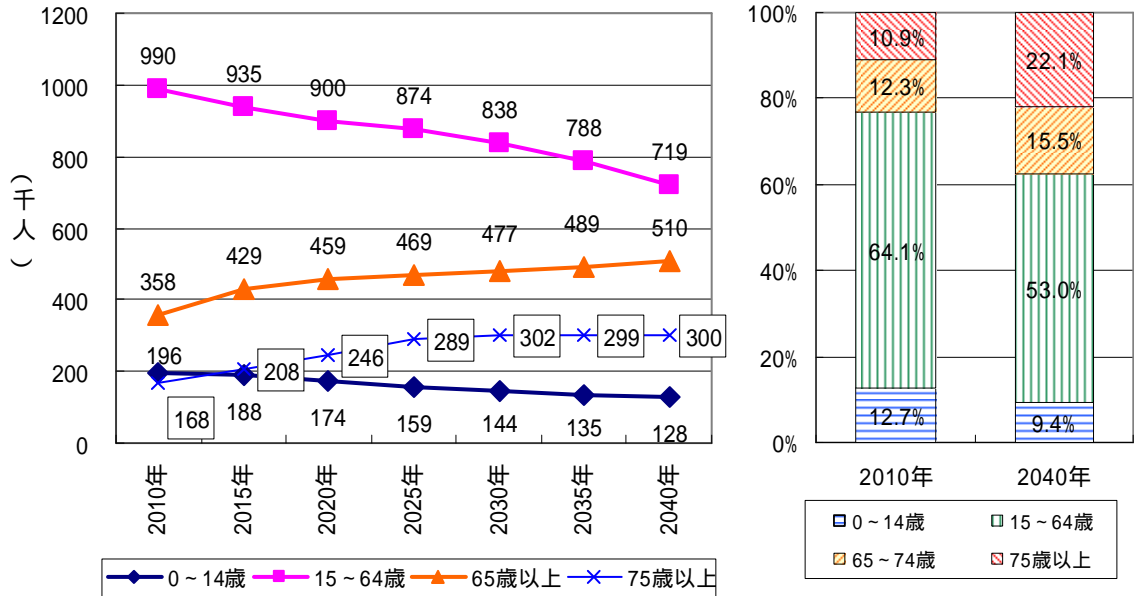
- ・実数で見ると但馬、丹波、淡路では減少し、それ以外の地域では増加する。
- ・比率で見るといずれの地域でも10%以上増加する。特に著しいのは阪神北(15.3ポイント増)、神戸(14.3ポイント増)、阪神南(13.2ポイント増)、東播磨(13.4ポイント増)等の人口過密地帯となっている。
- ・75歳以上は実数・比率ともいずれの地域でも増加する。特に神戸、阪神北、東播磨では比率が倍増している。

< 推計結果（県民局別・市町別総人口） >

	総人口(単位:千人)							対10年比 2040年
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	
兵庫県	5,588	5,532	5,422	5,269	5,088	4,888	4,674	83.6%
神戸地域	1,544	1,552	1,533	1,501	1,460	1,411	1,357	87.8%
神戸市	1,544	1,552	1,533	1,501	1,460	1,411	1,357	87.8%
東灘区	210	212	211	208	204	200	194	92.0%
灘区	133	135	135	134	132	130	127	95.2%
兵庫区	108	109	107	104	101	98	94	86.9%
長田区	102	100	96	92	87	83	78	76.7%
須磨区	167	165	160	154	146	138	129	77.3%
垂水区	220	218	213	207	199	190	181	82.0%
北区	227	227	224	219	212	204	195	85.8%
中央区	126	131	133	133	132	130	128	101.1%
西区	249	254	254	251	246	240	231	92.8%
阪神南地域	1,030	1,026	1,012	990	962	930	895	87.0%
尼崎市	454	440	425	406	385	363	341	75.2%
西宮市	483	491	493	490	485	477	467	96.8%
芦屋市	93	95	95	93	92	90	87	93.6%
阪神北地域	724	725	717	703	684	661	637	88.0%
伊丹市	196	197	197	194	190	186	180	92.0%
宝塚市	226	228	226	223	217	211	204	90.3%
川西市	156	154	150	144	138	131	124	79.4%
三田市	114	114	112	110	107	104	99	86.8%
猪名川町	32	32	32	32	31	30	30	93.4%
東播磨地域	716	706	691	670	645	616	587	81.9%
明石市	291	287	281	273	263	252	240	82.4%
加古川市	267	264	259	252	244	234	223	83.5%
高砂市	94	92	90	87	84	80	76	80.4%
稲美町	31	30	29	27	26	24	22	71.5%
播磨町	33	33	32	31	29	28	26	78.5%
北播磨地域	285	276	267	255	243	231	217	76.3%
西脇市	43	41	40	38	36	34	32	74.1%
三木市	81	78	74	70	66	61	57	70.1%
小野市	50	49	48	47	46	44	43	86.1%
加西市	48	46	44	42	40	37	35	72.8%
加東市	40	40	39	39	38	37	36	88.7%
多可町	23	22	21	19	18	17	15	67.1%
中播磨地域	582	573	561	544	526	505	483	83.1%
姫路市	536	530	519	505	489	470	451	84.1%
市川町	13	12	12	11	10	9	8	63.7%
福崎町	20	19	19	18	18	17	16	81.5%
神河町	12	11	11	10	9	8	8	62.7%
西播磨地域	272	263	253	241	229	216	203	74.5%
相生市	31	30	28	26	25	23	21	67.2%
赤穂市	51	49	47	45	43	40	38	75.3%
宍粟市	41	39	36	34	32	30	27	66.9%
たつの市	81	79	76	73	70	67	63	78.8%
太子町	33	34	34	34	33	32	32	95.0%
上郡町	17	16	15	14	13	12	11	63.2%
佐用町	19	18	16	15	13	12	11	57.0%
但馬地域	181	171	161	151	141	131	122	67.6%
豊岡市	86	82	78	74	70	66	62	72.5%
養父市	27	25	23	22	20	19	17	64.6%
朝来市	33	31	29	27	26	24	22	67.4%
香美町	20	18	17	15	14	13	12	58.6%
新温泉町	16	15	14	12	11	10	9	57.4%
丹波地域	111	106	100	95	89	83	78	70.1%
篠山市	43	41	39	37	34	32	30	69.0%
丹波市	68	64	61	58	55	51	48	70.7%
淡路地域	144	135	127	119	111	102	94	65.7%
洲本市	47	44	42	39	36	34	31	65.2%
南あわじ市	50	47	44	42	39	36	34	67.7%
淡路市	46	44	41	38	35	33	30	64.3%

\*市区町別の推計結果は千人未満の単位を四捨五入しているため、その計は表示している地域別の計に一致しない場合がある。

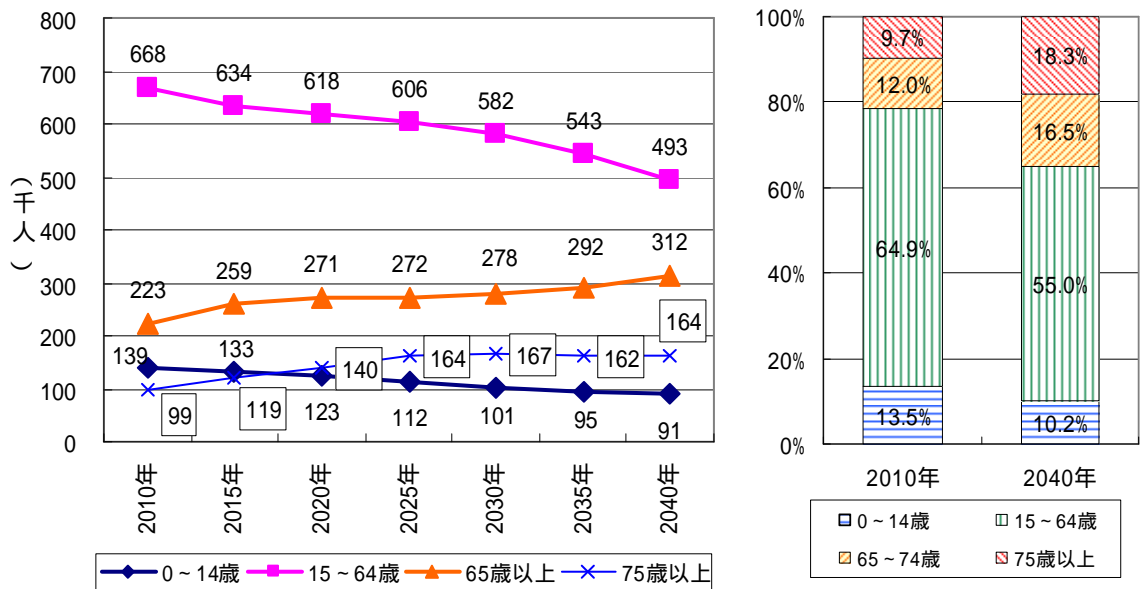
【神戸】(年齢別人口・比率)



(単位:人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0~14歳	195,862	187,776	174,454	158,643	144,022	134,813	127,719
15~64歳	990,438	934,981	900,118	873,962	838,417	787,894	719,226
65歳以上	357,900	428,801	458,901	468,701	477,493	488,591	509,611
うち75歳以上	167,548	208,045	245,774	288,856	301,505	299,450	299,963

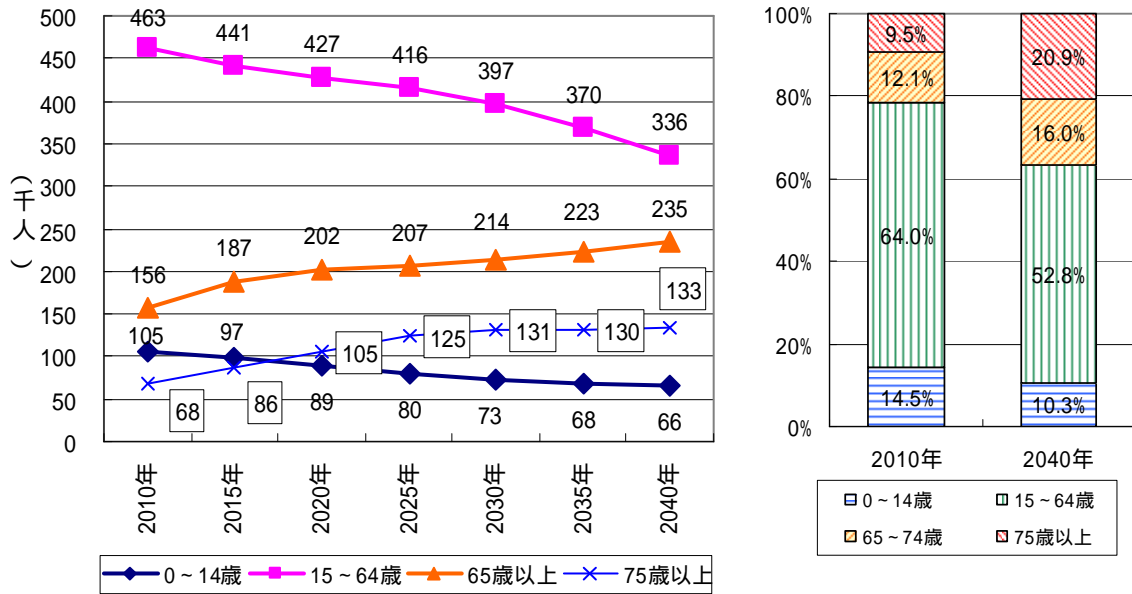
【阪神南】(年齢別人口・比率)



(単位:人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0~14歳	139,056	133,094	123,393	112,170	101,422	95,083	90,889
15~64歳	667,842	634,470	617,626	605,531	582,465	542,881	492,610
65歳以上	222,728	258,731	271,216	271,939	277,688	291,895	311,891
うち75歳以上	99,410	119,228	140,204	163,797	166,717	161,728	164,143

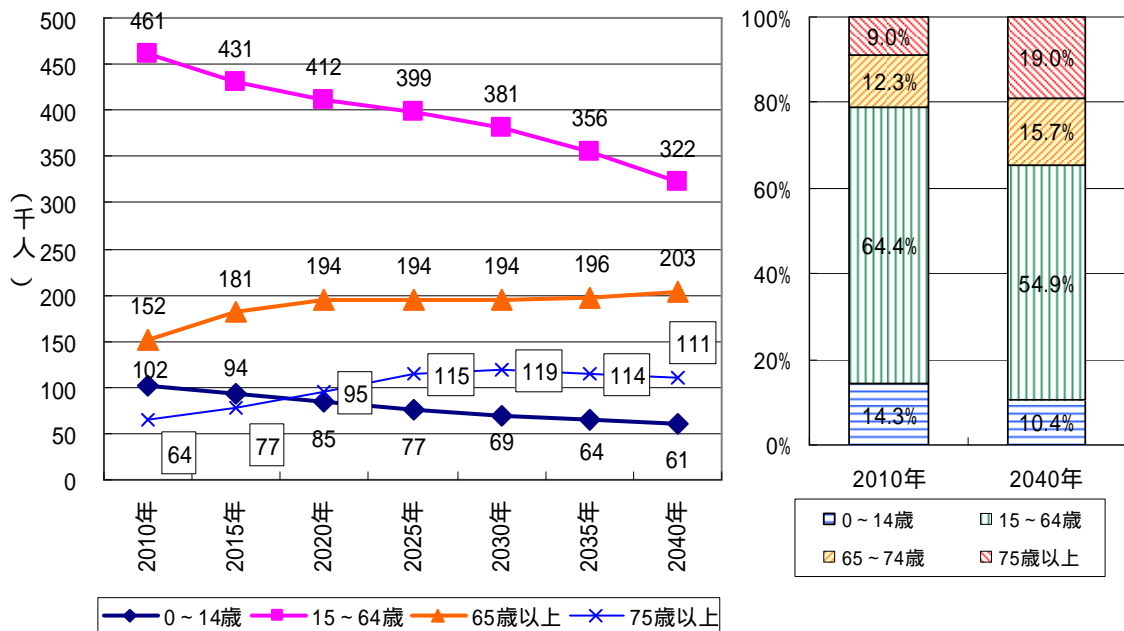
【阪神北】(年齢別人口・比率)



(単位:人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0~14歳	104,749	97,465	88,844	80,144	72,664	68,477	65,899
15~64歳	463,202	440,741	427,040	415,542	397,056	369,617	336,329
65歳以上	156,253	187,018	201,550	207,165	213,938	223,192	234,832
うち75歳以上	68,460	85,825	104,968	125,282	131,167	130,334	133,025

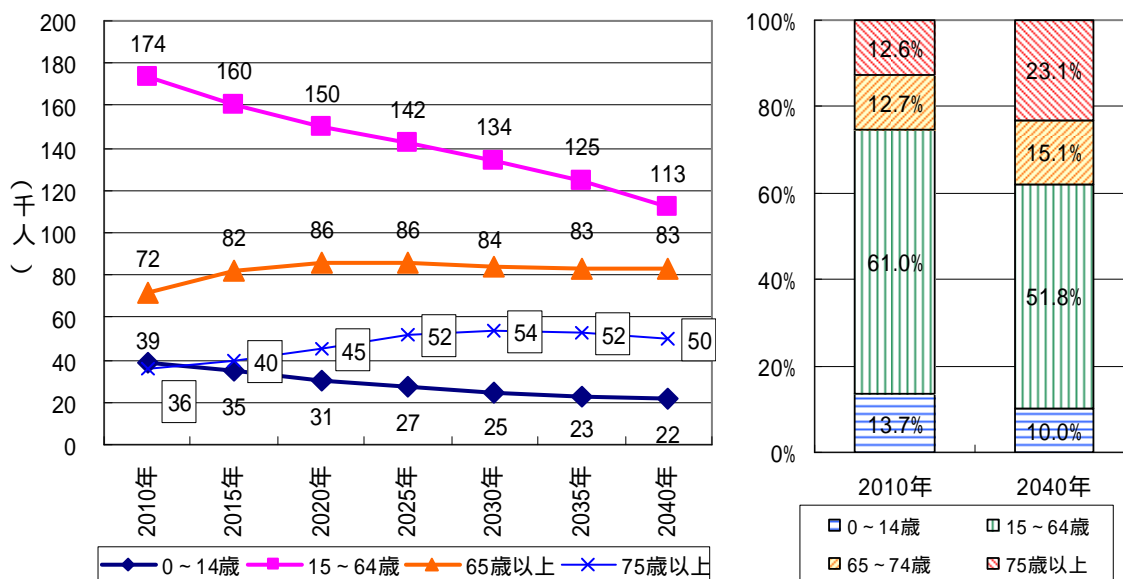
【東播磨】(年齢別人口・比率)



(単位:人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0~14歳	102,236	93,556	84,923	76,537	69,053	64,323	60,948
15~64歳	461,433	431,135	412,211	399,147	381,345	355,819	322,250
65歳以上	152,337	181,341	193,969	194,439	194,454	196,291	203,369
うち75歳以上	64,423	77,199	95,243	114,956	119,255	114,038	111,161

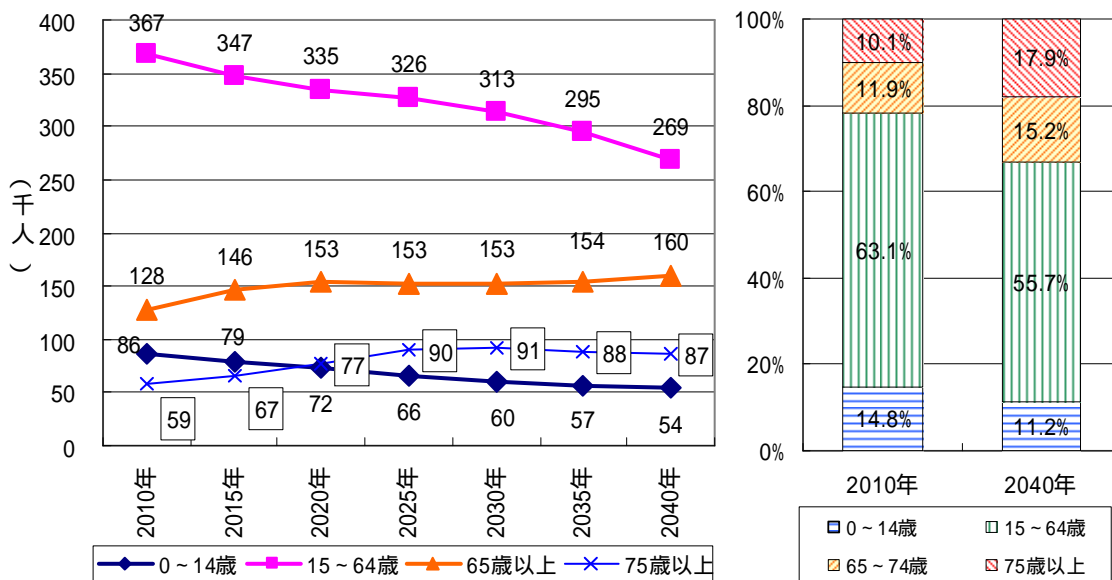
【北播磨】(年齢別人口・比率)



(単位:人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0~14歳	39,004	34,632	30,633	27,465	24,769	23,037	21,752
15~64歳	173,645	159,995	150,111	142,265	134,279	124,817	112,697
65歳以上	72,120	81,649	85,914	85,746	84,317	82,685	82,908
うち75歳以上	35,980	39,866	45,089	51,861	54,001	52,368	50,182

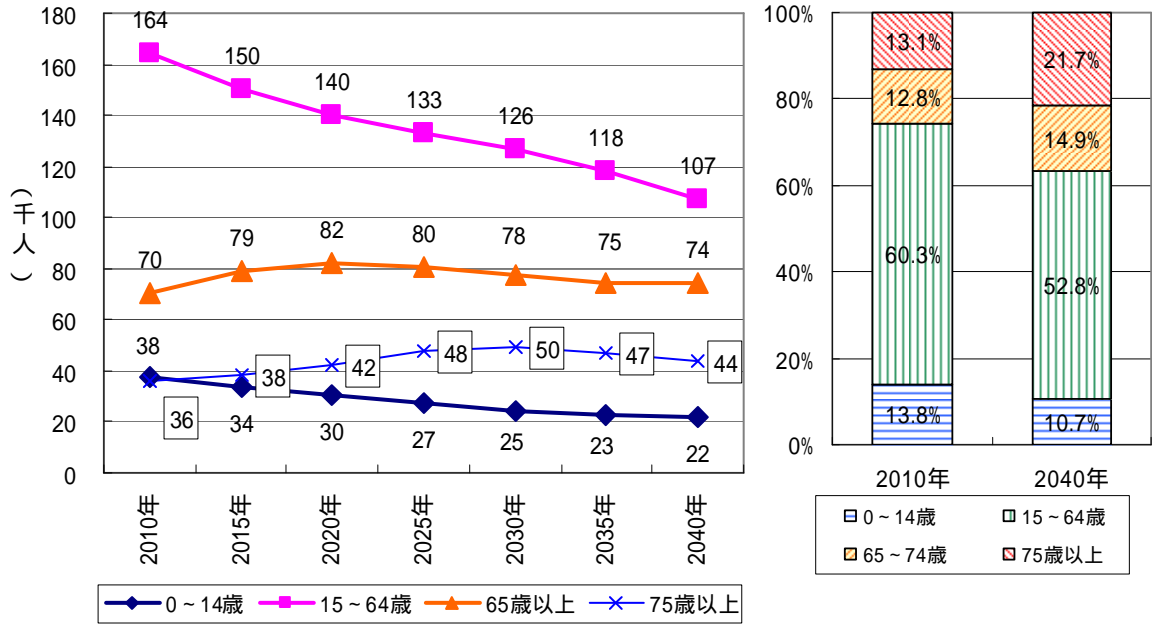
【中播磨】(年齢別人口・比率)



(単位:人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0~14歳	86,120	79,316	72,351	65,771	59,971	56,500	54,154
15~64歳	367,258	347,108	335,150	325,966	312,854	294,618	269,091
65歳以上	128,298	146,414	153,088	152,584	152,735	153,884	160,252
うち75歳以上	58,859	66,631	77,305	89,675	91,481	87,913	86,549

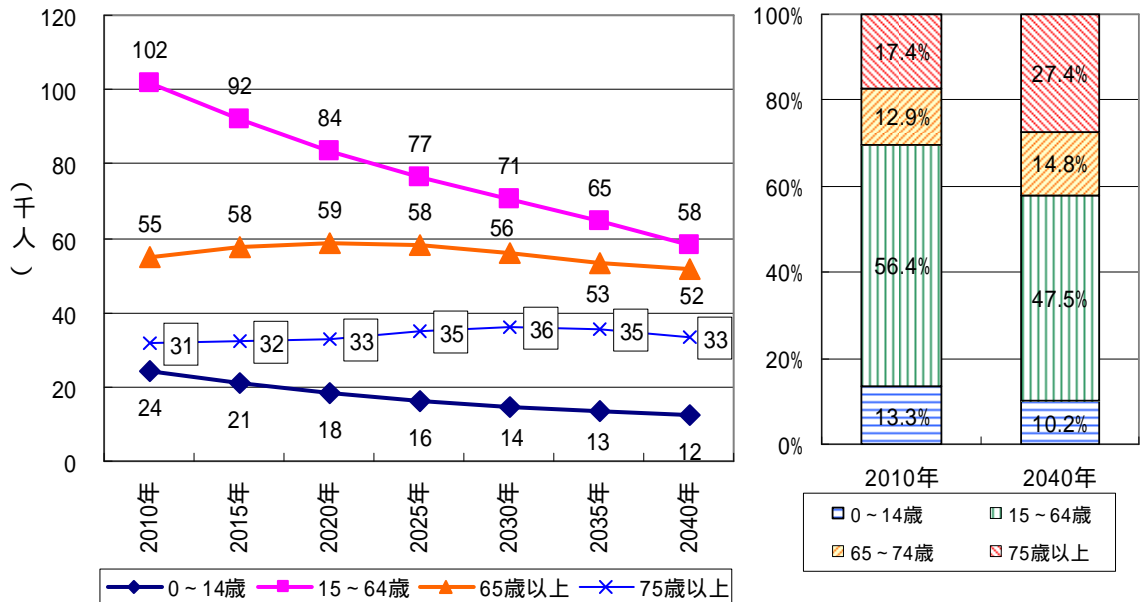
【西播磨】(年齢別人口・比率)



(単位：人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0~14歳	37,550	33,684	30,159	27,153	24,570	22,887	21,677
15~64歳	164,445	150,396	140,398	133,337	126,441	118,390	107,195
65歳以上	70,481	78,752	81,989	80,466	77,691	74,719	74,225
うち75歳以上	35,617	38,088	42,016	48,088	49,569	47,095	43,999

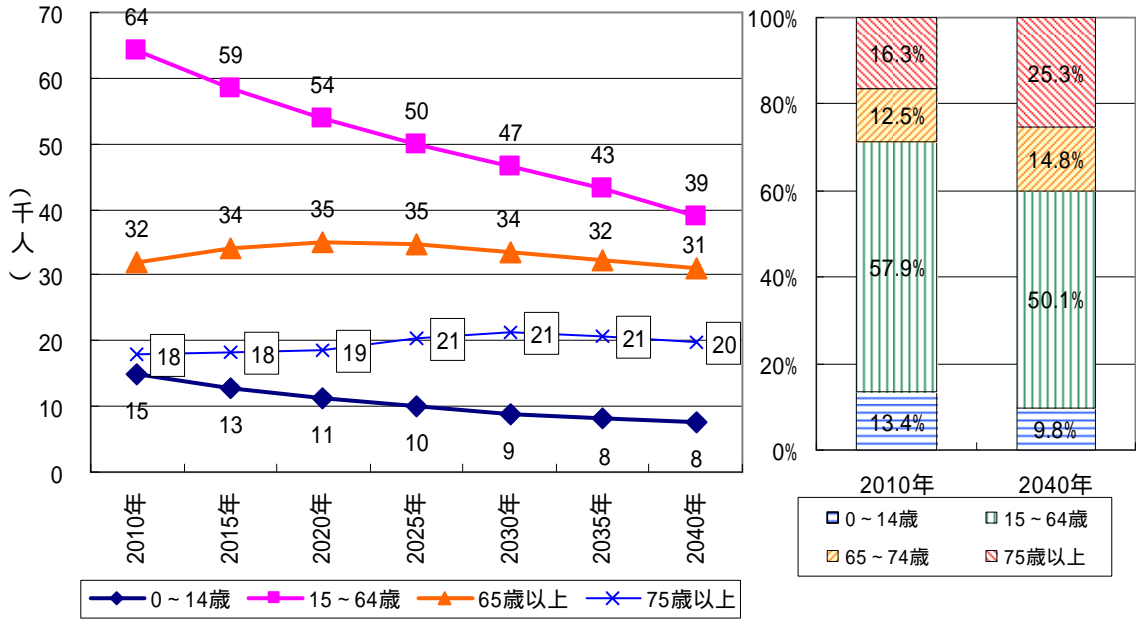
【但馬】(年齢別人口・比率)



(単位：人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0~14歳	24,035	20,912	18,374	16,175	14,425	13,305	12,494
15~64歳	101,876	91,811	83,525	76,572	70,581	64,677	57,979
65歳以上	54,695	57,780	58,763	57,971	56,031	53,489	51,564
うち75歳以上	31,482	32,088	32,713	35,025	35,914	35,301	33,489

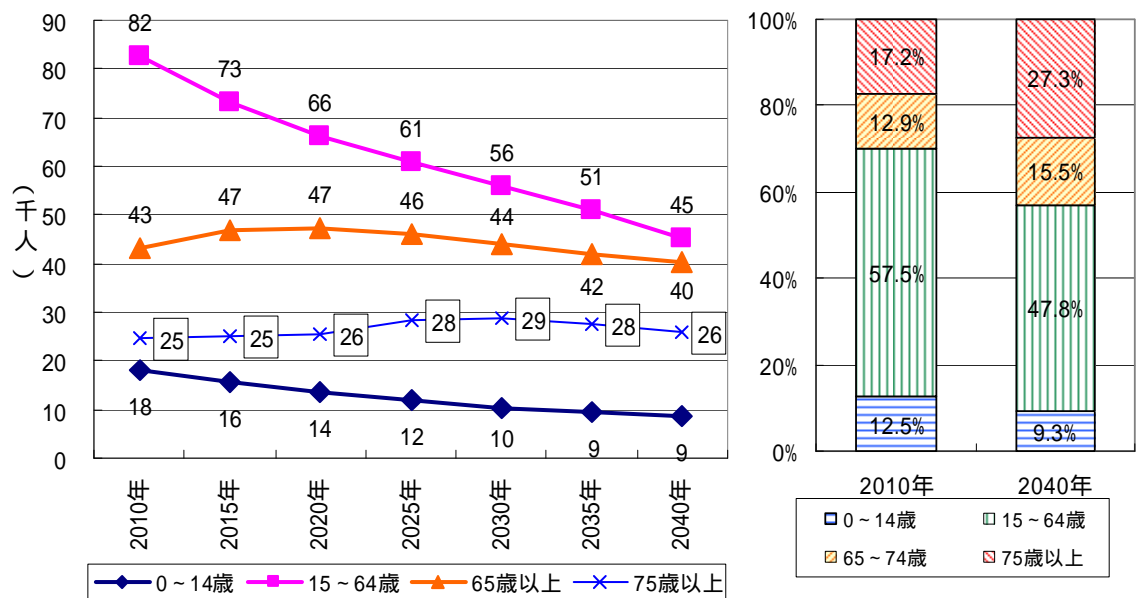
【丹波】(年齢別人口・比率)



(単位: 人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0~14歳	14,830	12,881	11,213	9,947	8,907	8,206	7,652
15~64歳	64,313	58,550	53,977	49,986	46,550	43,116	38,943
65歳以上	31,877	34,175	34,967	34,639	33,575	32,126	31,177
うち75歳以上	18,045	18,298	18,707	20,538	21,185	20,820	19,705

【淡路】(年齢別人口・比率)



(単位: 人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0~14歳	17,879	15,597	13,547	11,861	10,446	9,498	8,787
15~64歳	82,482	73,035	66,197	60,858	56,095	51,050	45,145
65歳以上	43,186	46,681	47,342	46,013	44,030	41,924	40,444
うち75歳以上	24,637	25,159	25,523	28,265	28,873	27,697	25,781